

# 新体育館建設をめざして



市では、17万都市のスポーツ活動拠点となる新体育館の建設について検討を進めています。今月は、この内容についてお知らせします。



2、3歳児の子どもとその保護者が参加する教室「親子であそぼう！わくわく広場」の様子。出雲市では、教室や個人・団体の利用、各種大会の開催など年間約34,000人が利用しています。

## これまでの経緯

### 〔公共施設のあり方指針の策定〕

市では、数多くある公共施設をすべて維持していくことは、今後、困難であることから、平成27年3月に「出雲市公共施設のあり方指針」を策定しました。この中で、築40年以上が経過した出雲体育館（今市町北本町）、平田体育館（平田町）、斐川第2体育館（斐川町直江）については、老朽化により安全性、耐震性等に問題があり、耐用年数を考慮すると今後の長期使用が見込めないため、廃止方針となりました。

### 〔出雲市スポーツ推進計画の策定〕

平成27年11月、市では、さらなるスポーツ振興を図るため、「出雲市スポーツ振興基本計画」の見直しについて、出雲市スポーツ振興審議会（会長：今岡一朗出雲市体育協会会長）に諮問しました。

この中で、3体育館の廃止を進める一方、17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点として、新体育館建設の必要性についても議論され、平成28年5月、新体育館建設を望む意見も含め、市長に答申されました。

市では、この答申をふまえ、新体育館の建設について盛り込んだ「出雲市スポーツ推進計画」を策定しました。

### 〔新体育館建設に向けた検討〕

市では、「出雲市スポーツ推進計画」を受け、新体育館建設に向け検討を進めています。現時点での検討内容は、次のとおりです。

(1) 新体育館の基本コンセプトは3ページのとおり。  
(2) 想定される実施可能種目

現在、市内の体育館において、使用頻度が高い競技種目は次のとおりですが、使用実態等を踏まえて検討します。

バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ソフトテニス、フットサル、卓球、柔道、剣道、空手道、なぎなた等

(3) 規模・機能

メインアリーナ2千㎡程度、サブアリーナ950㎡程度、多目的室、冷暖房設備、ステージの配備等コンベンション使用の対応、駐車台数300台～500台

(4) 事業スケジュール

2024年3月頃の完成をめざし、設計・工事等に取り組む予定

(5) 建設候補地

昨年9月に建設候補地5か所をリストアップし、今年3月にその5か所から県立大学出雲キャンパス周辺を最適地として選定しました。そして今年6月には、県立大学出雲キャンパスの東側を新体育館の建設場所として決定しました。

これから、新体育館の具体的な規模、機能等について検討していきます。  
この検討にあたっては、広く市民の皆さまからご意見をいただき、そうした意見を踏まえながら、基本計画を策定したいと考えています。

おたずね／文化スポーツ課 ☎ 216808



新体育館の建設場所に決定した「県立大学出雲キャンパス」の東側。同大学の東側駐車場に隣接し、敷地面積は約 31,700 m<sup>2</sup>。

## 新体育館 Q & A

新体育館建設への市民の皆さまの質問にお答えします。



**出雲市にはカミアリーナという大きな県立体育館があるのに、なぜ新体育館が必要なの？**



カミアリーナは、中国大会・県大会などの規模の大きい大会が毎週末のように開催され、週末の空きはほとんどない状況です。また、老朽化が進む体育館を廃止することになり、市大会や地域大会、個人の利用など、廃止する体育館の利用者の受け皿が必要となります。

市では、合併前の自治体で建設した多くの公共施設が今後、老朽化が進むものの、すべての公共施設を新たに建て替えることは困難です。

今回の新体育館建設は、将来にわたっての出雲市の中心体育館となり、市のスポーツ活動拠点となるものです。また、新体育館の基本コンセプトにあるように学会や各種会議、展示会等、市内に不足しているコンベンション機能を持たせることも検討しています。

よりよい体育館にしていくために市民の皆さまからのご意見をよく聴きながら、建設していく考えです。

## 新体育館の基本コンセプト

### 1. 「スポーツをする」体育館

市民のスポーツ活動拠点として、市民が日常のスポーツや健康づくりに気軽に使用でき、また、市大会など一定規模の大会の開催が可能な体育館

### 2. 「スポーツをみる」体育館

スポーツをする人だけでなく、観る人にも配慮した体育館

### 3. 「スポーツをささえる」体育館

出雲市体育協会など、市民のスポーツ活動を支える人(団体)の拠点としての体育館

### 4. 多用途使用に配慮した体育館

スポーツだけでなく、学会や各種団体の会議、展示会等、さらに災害時の避難所など、多用途に使用しやすい体育館

### 5. 人や環境にやさしい体育館

バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入に努めるとともに、省エネルギー機器を採用するなど、人や環境にやさしい体育館